

させほ夢大学

発行 ● 公益社団法人 させほ夢大学
編集委員会
事務局 / 〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させほ夢大学会報

No.304 (2021・6)

令和3年度
第3回

2021年 **6月17日(木)**

アルカスSASEBO 大ホール

1部 開場 13:00
講演 14:00 (終了15:15)
2部 開場 17:30
講演 18:30 (終了19:45)

今回は、皆様お待ちかねのお笑い芸人・西川きよしさんをお迎えします。

夢大学へは、2005年の「福祉は我が家から」に続き、2度目の登場です。ちなみに夫人の西川ヘレンさんには、2013年「幸せの鐘が聞こえる」で、お話をいただきました。

1965年、故 横山やすしさんと漫才コンビを結成。国民的人気を博し、漫才ブームの火付け役になりました。上方漫才大賞、文化庁芸術祭優秀賞など、多くの賞を受賞されました。

1986年に参院選に出馬。福祉関係の充実を政策の中心とし、3期



18年の議員生活を務めました。

2019年、芸能生活55周年を迎えられた西川さん。今なお第一線の舞台やテレビ、ラジオで活躍するお笑いのスター芸人です。

2016年に旭日重光章、2020年には漫才分野から初の文化功労者に選出されました。

座右の銘は「人生は小さなことからコツコツと」。大きな目をカッと見開き、パワフルでユーモアたっぷりのお話は、大爆笑まちがいない！でも声はマスクの中に止めてください。笑顔で楽しいひとときを過ごしましょう。

どうぞご期待ください。

にしかわ

講師 ● タレント **西川 きよし氏**

テーマ ● 人生は小さなことからコツコツと



次回のご案内

■と き / **7月15日(木)** [1部] 14:30~16:00
[2部] 18:30~20:00

■講 師 / 東北大学大学院工学系研究科機械系航空宇宙工学専攻 教授
宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 名誉教授

川口 淳一郎氏

■テーマ / やれる理由こそが着想を生む。

~「はやぶさ」から「はやぶさ2」へ。新たな挑戦を生んだもの。~

●京都大学工学部卒。宇宙工学者、工学博士。2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループ プログラムディレクター、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務める。現在、東北大学大学院工学系研究科機械系航空宇宙工学専攻教授および宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所名誉教授。2021年3月まで同機構宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月より同機構シニアフェローを務める。ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャを務めていた。著書に「「はやぶさ2」が拓く 人類が宇宙資源を活用する日」などがある。

講演会は1日2回開催です。詳しくは裏面のお知らせを必ずお読みください。

西川 きよし 氏のプロフィール

●高知県出身。1963年、石井均に師事。1964年、吉本新喜劇に研究生として入団。1966年、漫才コンビ「横山やすし・西川きよし」を結成。テレビ番組「素人名人会」「パンチDEデート」「プロポーズ大作戦」の司会を務めるなど、やすきよブームを巻き起こす。上方漫才大賞、文化庁芸術祭優秀賞、ほか受賞歴多数。1986年、参議院議員選挙に初当選し、3期18年の議員生活を務める。2016年、旭日重光章を受章。2019年、芸能生活55周年を迎えた。2020年、文化功労者に選出された。現在も劇場出番をはじめ、テレビ、ラジオで活躍中。



大切なお知らせ

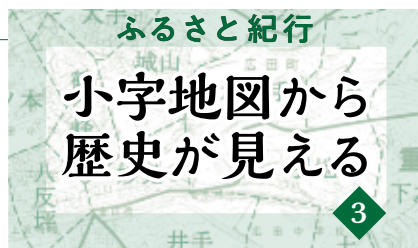
- 6月17日の講演会は、新型コロナ感染による3密を避けるために、**1日2回講演**にて実施します。**第1回目講演は14時00分から、第2回目講演は18時30分から**です。
- 1回目講演と2回目講演の振り分けは、**5月末に発送している「入場証(6月分)」に記載**しています。
- 各講演の時刻表等を記載した入場証に、必要事項をご記入の上、学生証と共にご持参ください。
- ご入場の際は、手指消毒・検温をしますが、体調の悪い方は入場をご遠慮ください。
- できるだけ不織布マスクを着用し、会話は控えてください。
- ホールの客席は一席ずつ空けてお座りください。また、席取りはご遠慮ください。
- 1回目と2回目の入れ替え時には、ホール座席等の消毒及び清掃をしています。
- 携帯電話等の各種電子機器は、電源を確実にお切りください。
- 学生ご本人が欠席で代理出席の場合も、必ず、学生証と入場証をご持参ください。もし、両方ともない場合は、万が一、感染者が発生した場合、補足追跡ができませんので、入場をお断りすることになります。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況や講師の都合、天災その他不測の事態により、開催日時の変更や延期、または講師を変更して代替開催する場合があります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



広田の重尾に「勝退谷(カチノキタニ)」という小字がある。天正一四年(一五八六)有馬・有田・波多らの援軍を受けて大村純忠が岡甚右衛門らの立て籠もる井手平城を攻めて勝利した。その戦を『三光譜録』は「天正一四年四月四日、大村理全純忠は、波多、有馬を頼み雑兵五百計り二手不図早岐の井手の平



重尾の小字「勝退谷」

佐世保史談会副会長
宮崎 勝秀



城に押寄せ八重廿重に取巻攻戦ふ。』
『大村家覚書(卷之二)』は「天正一四年：四月四日純忠兵を帥いて鳶巢山に陣を取る。松浦丹後守盛(有田領主)波多三河守鎮(唐津領主)の援兵と一つになり井手平の塞を攻る。」
大村純忠の軍はどの道を通り井手平城を攻めたのだろうか。どの旧記にも進軍の道筋は、はっきり触れてない。
『大村家覚書(卷之二)』には「純忠兵を帥いて鳶巢山に陣を取る。」とのみある。
「勝退谷」を抜け、小字「鷹ノ巣」を西側に「館谷」を東に見ながら谷を進み、塩浸町に出て、新替町の井手平城が目前である。
『三川内地区郷土史』に「勝退谷」は「館谷」や「勝関谷」にも通じ、井手平城の戦と関係の深い地名とあるように、この付近で勝関を挙げたと考



では、勝関を挙げたのは、誰どの場面であろうか。井手平城を守っていた平戸側の兵ではなく、攻めてきた大村側の兵と考える。井手平城を焼き落とし勝利した大村の兵たちは勝退谷に集結し、勝関をあげ、その後、広田城攻めに向かい通った場所が後に「勝退谷」という小字地名が残ったと考える。
大村純忠は、宮から重尾、勝退谷、鷹巣を経て井手平城に迫る山越えの陸路を選んだ。と推論する。
故に小字「勝退谷」は天正一四年の井手平城の戦に関わる地名と考える。
勝関を挙げたのは大村純忠軍で、十字架を身に着けた純忠や武将らが勝退谷で勝関を挙げ、デウスやイエスを祈りをささげる姿が思い浮かぶ。
今回は、広田の小字「城山」について小字地図から歴史が見えるでしょうか。

講演を聴かれた感想をお待ちしています! 600字程度にまとめて、させば夢大学事務局まで、郵便・FAX・メール等でお送りください。締切日は原則として、講演日の1週間後の木曜日(必着)です。